

## (資料2) 北九州市環境首都総合交通戦略の次期改訂 に向けた検討

- ・ 現計画期間が令和3～8年度末までのため、次期改訂に向けて、公共交通の現況分析・課題整理、公共交通ネットワークの再編等の検討を開始します。本資料は、今後の作業スケジュール等を記載した資料です。
- ・ 今年度は、通常の幹事会に加えて、別途、主に交通事業者等の委員の皆さまを中心としたワーキンググループ形式も開催し、改訂(案)のご意見を伺いたいと考えております。

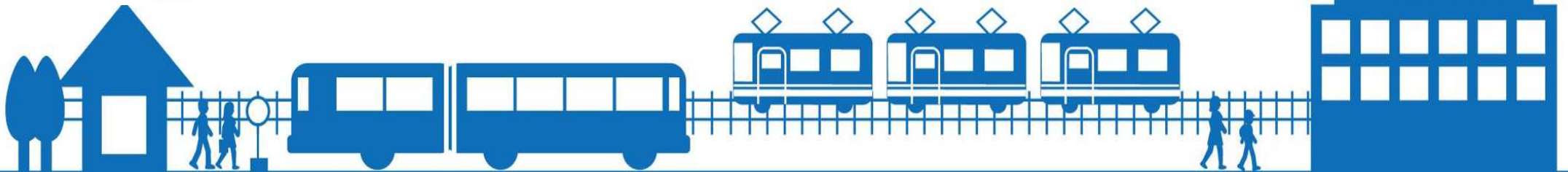
# 北九州市環境首都総合交通戦略（北九州市地域公共交通計画） の次期改訂に向けた検討について

計画期間 令和3年度から概ね5年間

交通理念 環境にやさしく安心して移動できるまちを目指して  
～使おう公共交通、かしこくマイカー利用～

基本方針

- ・ 持続可能な公共交通ネットワークの強化・充実
- ・ 利便性の向上・環境にやさしい公共交通の利用促進
- ・ 誰もが使いやすい公共交通の実現
- ・ 公共交通を支える道路環境の充実



令和7年8月25日

北九州市 都市戦略局 計画部 都市交通政策課

# 1 北九州市の公共交通の現状と課題

## ■北九州市の公共交通の現状

自動車保有台数が増加、それに対し、公共交通利用者は、新型コロナ以前まで回復していない  
公共交通利用者の減少に伴い、路線バスの廃止距離も増加

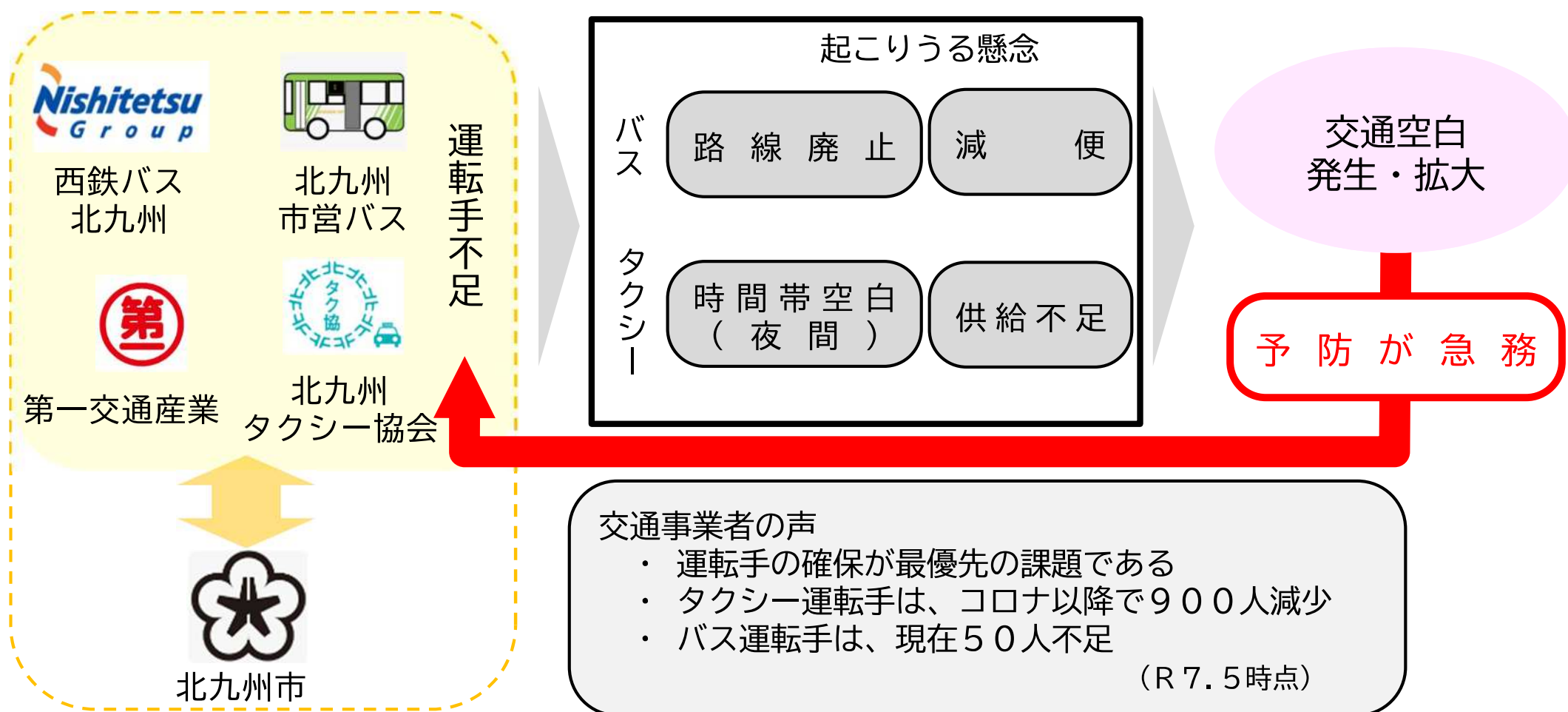
|                       | R 1 年度<br>(コロナ前) | R 4 年度  | R 5 年度  | R 1 比               | R 4 比              |
|-----------------------|------------------|---------|---------|---------------------|--------------------|
|                       |                  |         |         |                     |                    |
| 自動車<br>保有台数           | 533千台            | 536千台   | 537千台   | +4千台<br>(+0.8%)     | +1千台<br>(+0.2%)    |
| 公共交通<br>利用者数          | 372千人/日          | 300千人/日 | 310千人/日 | ▲62千人/日<br>(▲16.7%) | +10千人/日<br>(+3.3%) |
| 路線バスの<br>廃止路線数<br>累計※ | 60本              | 78本     | 79本     | +19 本               | +1 本               |
| 路線バスの<br>廃止距離<br>累計※  | 144.9km          | 203.9km | 204.7km | +59.83km            | +0.79km            |

※ H 1 3以降の数値

# 1 北九州市の公共交通の現状と課題

## ■運転手不足による交通空白発生への懸念

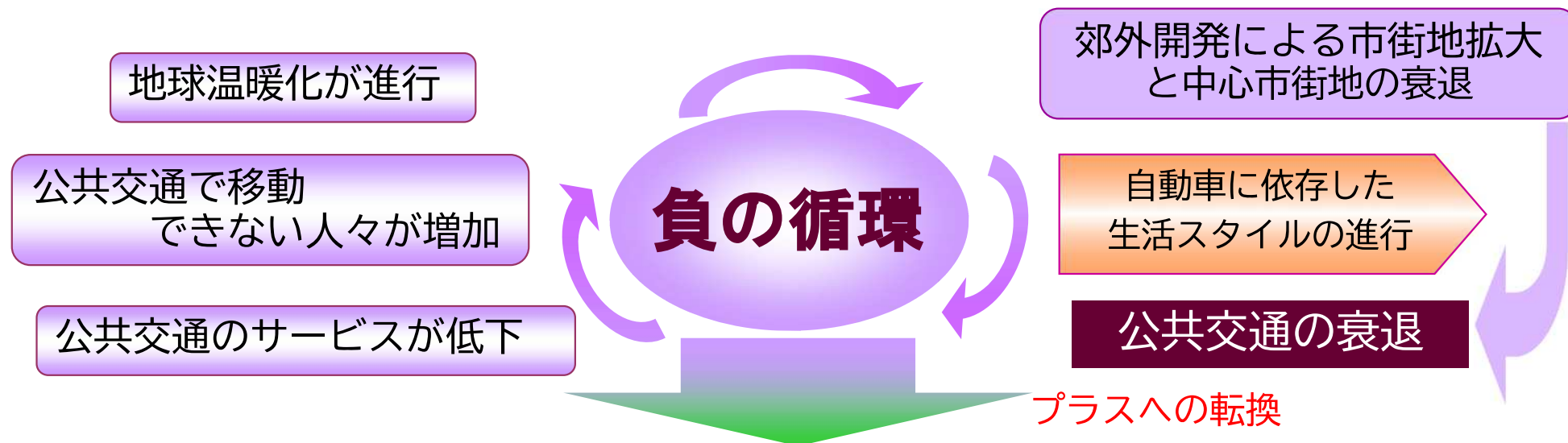
地域公共交通は、利用者の減少、燃油価格高騰、運転手不足の深刻化により厳しい状況



# 1 北九州市の公共交通の現状と課題

## ■公共交通の活性化に向けて

現状のままでは公共交通の路線の減便が進み、移動しづらく暮らしにくいまちになってしまう



北九州市を暮らしやすいまちにするために、公共交通の衰退がもたらす「負の循環」から、公共交通の利便性を強化、サービス向上と維持存続により、「正の循環」への転換が必要





## 2 国の動向(地域公共交通の「リ・デザイン」(再構築))

(出典：国土交通省)

- 地域の社会経済活動に不可欠な基盤である、ローカル鉄道・路線バスなどの**地域公共交通**については、人口減少等による長期的な需要減に加え、コロナ禍の直撃により、深刻な状況。
- こうした需要の減少は、交通事業者の経営努力のみでは避けられないものであるため、
  - ◆ 自動運転やMaaSなどデジタル技術を実装する「**交通DX**」
  - ◆ 車両電動化や再エネ地産地消など「**交通GX**」
  - ◆ ①**官民共創**、②**交通事業者間共創**、③**他分野共創**の「**3つの共創**」、すなわち、地域の関係者の**連携と協働**を通じて、地域公共交通の**利便性・持続可能性・生産性**を高め、**地域公共交通の「リ・デザイン」**(再構築)を進める。

### 交通DX

#### 自動運転

地方公共団体が地域づくりの一環として行うバスサービスについて、実証事業を支援



▲茨城県境町の自動運転バスの運行

#### MaaS

交通事業者等の連携高度化を後押しするデータ連携基盤の具体化・構築・普及を推進



### 交通GX

#### 交通のコスト削減・地域のCN化

車両電動化と効率的な運行管理・エネルギーマネジメント等の導入を一体的に推進



### 3つの共創

#### 官民の共創

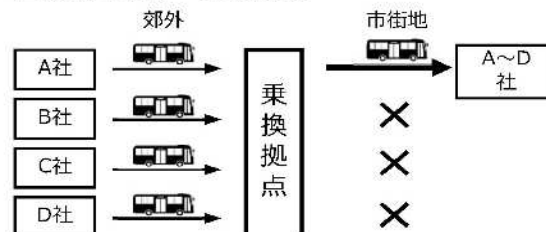
一定のエリアにおいて、地域でサービス水準を決定し、事業者が複数路線を一括して長期間運行

交通手段が重複 ▶ ネットワークの統合 ▶ エリア一括協定運行



#### 交通事業者間の共創

複数の交通事業者が共同経営を行うことにより、垣根を越えたサービスを展開



#### 他分野を含めた共創

地域交通と、様々な他分野との垣根を越えた事業連携を実現



### 3 計画改訂に向けた今後の進め方

#### ■総合交通戦略連絡会での検討スケジュール

総合交通戦略連絡会において、現計画の改訂内容（案）に関する意見を聴取

